

第18回 MQI活動

H25年度
MQI統一テーマ

再構築



発行(公財)練馬総合病院MQI推進委員会
〒176-8530 練馬区旭丘1-24-1
Tel.03-5988-2200(代)

今年度途中経過 推進委員長 柳川達生

MQI活動もいよいよ大詰めです。先日のチーム別相談会では進捗具合を把握していただく意味もあり、これまでの活動をスライドにまとめていただきました。ここで明らかとなった問題を踏まえて修正し、最後の追い込みといきましょう。まとめることは難しいと感じた職員も多かったと思います。考えてまとめることで仕事を効率よく運営していく方法を見出すことができます。各チームの活動には推進委員長の立場から助言をしましたが、問題があれば相談して下さい。

それぞれの業務はこれから何人も職員が繰り返していきます。しっかりと計画をたて効率のよい業務の流れを作るには手間と知恵が必要です。より良い業務の流れを作り、組織的に改善していく力を培うのがMQIです。12月14日の発表大会まで全職員で支えていきましょう。

平成25年4月24日 MQI活動 キックオフ

基本が肝心です！ もう一度、MQIについて確認しましょう！

MQIの必要性

- ・各職種がうまく連携して、最善の効果がえられる業務を実践できる？
- 部署間の壁
- 上下の壁
- 業務効率を評価
- チーム医療の推進

医療の質向上(MQI)活動の特徴

1. 他の模倣でなく、当院独自の活動
2. 病院の戦略としての活動
3. 科学的手法の推奨
4. 医師が参加
5. 活動は手段、教育の場
6. 全組織をあげての業務改善

活動の方法 MQIストーリーに則った活動とする



MQI活動の意義

- ・医療の質の向上
- ・問題点を見出し、自身で考え、解決する等の職務に必要な能力の育成
- ・管理職のみならず、管理職候補者、リーダー教育でもある

平成25年度 MQI推進委員会メンバー紹介

委員長：柳川 達生 (副院長・内科医師)	副委員長：金内 幸子 (薬剤科)
事務局：橋本 瑠美 (質保証室), 濱本 志乃 (質保証室), 阿部 哲晴 (事務部)	
委員：小谷野 圭子 (質保証室), 中尾 和城 (臨床検査科), 岩崎 順子 (医事課)	
三嶋 ミナ子 (2階病棟), 田村 美紀 (3階病棟), 野村 翔 (栄養科)	
滝野 広美 (放射線科), 淵野 幸則 (リハビリ), 片岡 貞子 (健康医学センター)	

今後の活動予定

11/11	11/15	11/18	11/22	11/29	12/14
予演会 前半	予演会前半チームスライド一次ベ切	予演会 後半	予演会後半チームスライド一次ベ切	発表スライド 最終ベ切	発表大会
					活動報告書作成
					活動フォローの会

もうすぐ11月です。活動期間は残りわずかとなりました。

しっかり計画を立ててください。問題があれば早めに推進委員に相談を！！

6月1日「1日で計画を立てる会」参加チーム紹介

テーマ	「下部消化管内視鏡の検査と治療の再構築」	「一般健診の再構築」	「画像診断結果を確実に患者へ伝える」
主体部署	内視鏡センター	健康医学センター	放射線科
チーム名	アップル	スーパーこまち	T★T★K
リーダー	喜多 哲史	加藤 光枝	堀井 倫子
サブ	栗原 直人	中田 英之	田頭 崇
			

テーマ	「予約センターの設立」	「救急患者受け入れの再構築」	「持参薬投薬の仕組みを再構築する」
主体部署	医事課	看護部チームA	看護部チームB
チーム名	ミニミクス	救急	チームB
リーダー	田中 久美子	岡安 由希江	木暮 友美
サブ	梁瀬 浩孝	羽鳥 萌絵	藤澤 美貴子
			

テーマ	「新規紹介患者の診察予約を確実にとるために逆紹介を推進する」	「がん性疼痛におけるオピオイドの使い方」 PartII	「慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者に対する外来呼吸リハビリテーションを構築する」
主体部署	地域連携室	薬剤科	リハビリテーション科
チーム名	ネットワーク	オピオイドの話をしよう	LUNG
リーダー	大野 麻那	平瀬 陽子	稲垣 年男
サブ	岡部 光	中島 みゆき	金原 大志
			

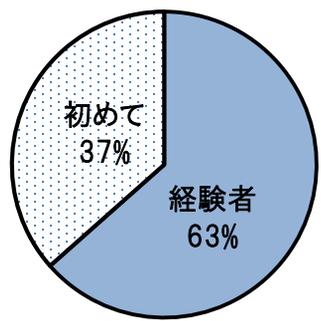
テーマ	「管理栄養士の担当病棟を決め病棟での栄養管理業務の充実を図る」	「輸血業務の再構築」～迅速化と新カルテでの運用に向けて～
主体部署	栄養科	臨床検査科
チーム名	美食倶楽部いらっしやい	ウィナーズサークル
リーダー	野村 昇平	山崎 勝巳
サブ	遠藤 翔・古川 愛梨	栗原 真吾
		

**今年のMQI活動は
全11チームの参加です**

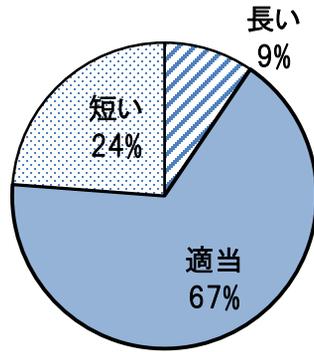
**業務の再構築を行い
職員にとっても
患者さんにとっても
より仕事し易く
より質の高い医療が
提供できるよう
有意義な活動をしましょう**

6月1日「1日で計画を立てる会」アンケート結果 (回答数63名)

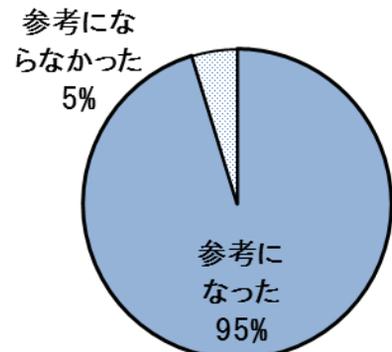
Q1 MQIIに参加したことがありますか



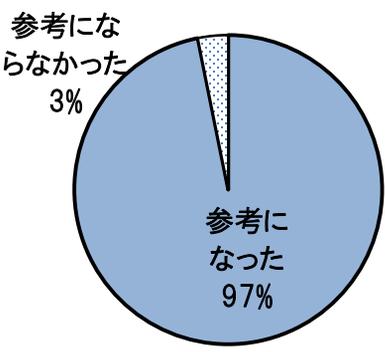
Q2 グループ討論の時間



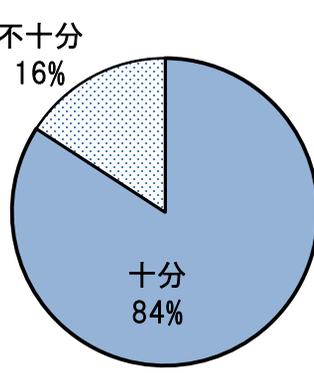
Q3 他チームの発表を聞いて



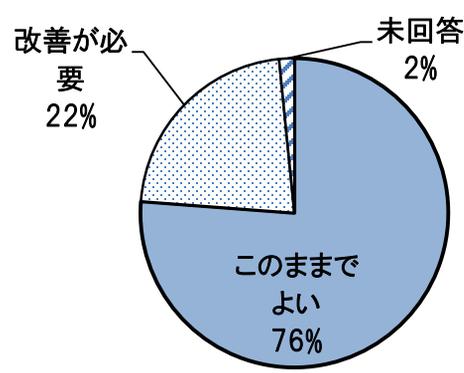
Q4 自チームに対する意見や質問



Q5 グループワークに入る前の全体説明



Q6 来年もこのような会を開催する場合



その他意見

- ・例年と変わった所をもっと前もって説明しておいてほしい。
- ・事前にどのような目的なのか知らされていなかった。もっと説明してほしい。
- ・会場に豊田医師と松田医師の姿もあり、一丸となって再構築しているように思えた。
- ・1日の会までに最低でもこれだけはやっておくべきことを周知していたらスムーズ。
- ・マイクの音が小さくて後方の席ではハッキリ聞こえなかった。
- ・PCIにつないだ画面が使いやすくて良かったです。



平成24年度 継続フォローの会 2013.4/1. 8, 15, 22

<p>テーマ</p> <p>主体部署</p> <p>リーダー/サブ</p> <p>現在の状況および今後について</p> <p>出席者</p>	<p>「大腸内視鏡検査・治療パスの統合」</p> <p>内視鏡センター(アップル)</p> <p>市原明子/栗原直人</p> <p>成果・歯止めは継続できている。今後ガイドラインに変更等があった場合は、逐次改訂していく。</p>  <p>市原医師 推進委員 三嶋師長</p>	<p>「嚥下造影検査の導入」</p> <p>リハビリテーション(クラブ Skeleton)</p> <p>長谷川 靖子/圓山 隆昭</p> <p>嚥下造影検査は被曝があるので30分以内で完了することが推奨されているが、先月の検査では15分程度に収めることができた。MQIで作成した業務フロー図が役に立っている。</p>  <p>長谷川さん 推進委員 橋本さん</p>	<p>「『練馬医療連携ネットワーク』の運用と地域医療機関との連携強化」</p> <p>地域連携室(ネットワーク)</p> <p>大野 麻那/栗原 直人</p> <p>地域連携システムから患者の診療内容を確認ことができ、提携医療機関もその後増加している。「患者を取られる」という懸念事項を払拭でき、メリットが伝われば、連携施設も増えていくだろう。</p>  <p>大野さん 推進委員 小谷野主任</p>
<p>テーマ</p> <p>主体部署</p> <p>リーダー/サブ</p> <p>現在の状況および今後について</p> <p>出席者</p>	<p>「SGAの正しい登録方法の啓蒙、SGA登録率と評価率の向上」</p> <p>NST委員会(美食倶楽部)</p> <p>中山 香/土屋 雅嗣</p> <p>活動の成果は、活動前より改善されているが、入院の多い日は評価が抜けることもある。NST委員会で効果的な歯止めを再考するなど、継続して改善を図る。</p>  <p>中山さん 推進委員 三嶋師長</p>	<p>「特定保健指導の実施率向上を目指して」</p> <p>健康医学センター(MTB85)</p> <p>岡部 麻美/中田 英之</p> <p>成果の継続、歯止めも効いている。MQI活動を機に、結果説明と保健指導の予約を、看護師だけでなく事務職も取れるようになった。</p>  <p>花房さん 推進委員 稲葉さん</p>	<p>「入院化学療法業務手順を見直し、安全・確実に業務を行う」</p> <p>化学療法センター(レジュメ)</p> <p>加藤 晶子/大友 順子</p> <p>手順の確認方法について、読み方を周知する、読み易くする等、もう少し詰める。主任・リーダーにレジュメに関するテストを行ったところ、まだ不十分な部分もあるので再考する。</p>  <p>加藤主任 推進委員 金内科長</p>
<p>テーマ</p> <p>主体部署</p> <p>リーダー/サブ</p> <p>現在の状況および今後について</p> <p>出席者</p>	<p>「入院・退院時業務の統一化」</p> <p>看護部(無事カエル)</p> <p>乾 美奈子/丹羽 由香</p> <p>入院手続き・説明を一部病棟に上げたことで、入院受付での待ち時間短縮には大いに貢献できている。業務の周知浸透をはかるため、新入職者への教育を徹底する。</p>  <p>乾さん 推進委員 柳川副院長</p>	<p>「ME機器の中央管理をめざして」</p> <p>ME室(なんとかし隊)</p> <p>軽部 みゆき/北野 和彦</p> <p>成果の継続、歯止めはできている。点検するしくみができたので、今後は数値管理を行い、機器が足りているかどうかなどを把握していく。</p>  <p>軽部主任 北野さん 推進委員 馬場さん</p>	<p>「医事課窓口業務を見直して患者と職員の不満を解消する」</p> <p>医事課(あずみん☆)</p> <p>梁瀬 浩孝/及川 美奈子</p> <p>外来時間終了後の緊急診療依頼について、診療科によっては直接医師に電話しないで欲しい等個別の要望もある。救急体制の在り方等、次のMQIにつながればよい。</p>  <p>梁瀬さん 推進委員 岩崎係長</p>
<p>テーマ</p> <p>主体部署</p> <p>リーダー/サブ</p> <p>現在の状況および今後について</p> <p>出席者</p>	<p>「薬剤師の持つ情報を積極的に役立て、病棟での薬剤業務を充実させる」</p> <p>薬剤科(Team SP)</p> <p>中島 みゆき/森 美奈子</p> <p>成果の継続はできている。退院時の服薬指導をしたかについて、医事課から病棟薬剤師に確認するのが非常に時間がかかる。PHSを持たせたいが回線に限度があり難しい。今後の課題。</p>  <p>中島主任 推進委員 金内科長</p>	<p>「心カテ業務の見直し」</p> <p>放射線科(マジッキー)</p> <p>松尾 道暁/今川 拓栄</p> <p>今後はカテ台帳の網羅範囲・機能を拡げて行きたい。今回作成を考えていた機能は時間・工数の調整がつかず、すべて取り込むことができなかった。拡張すれば医師の負担も減る。</p>  <p>松尾さん 滝野さん 推進委員 田頭さん</p>	<p>*** 昨年度MQI活動 ***</p> <p>皆で苦勞したMQI活動です。課題もありますが、問題点をきちんと認識し、更なる改善をお願いします。</p> <p>MQI活動は、歯止め・標準化、成果の継続こそ重要。業務に生かしてください！</p>